名立まちづくり協議会　会報

まち協だより

2024 年 3 月 25 日発行
No.47【えっ、もう植えたの！？号】

《春はそこに…》

3 月 1 日に新潟地方気象台から発表された「2024 年冬（12 月～2 月）の天気経過」では「2020 年冬に次ぐ記録的な暖冬・少雪」とありましたが、季節はもう 3 月、春です。

巷間ではもうジャガイモを植えたという気の早い人（失礼！）もいらっしゃるようですが、春もその辺りまで来ているようですから、ぼちぼちとやっていきましょう。

名立大町では
河津桜がひと足早く開花

《Road　to　Fudou～灯への道～》

そんな少雪の中でしたが 2 月 24 日（土）不動地区で灯の回廊が開催されました。それにあわせ県道沿いにも“灯”を点そうと昨年から始めた“Road　to　Fudou”に今年も各地区の振興協議会や個人のみなさんからご協力いただきました。寒い中にもかかわらず準備や点灯にご協力いただいたみなさん、ありがとうございました！

《左上⇒右上⇒右下
⇒左下⇒左上》
名立区総合事務所⇒名立駅
⇒岩屋堂⇒大菅⇒田野上
⇒丸田⇒ろばた館⇒不動

《今年も華やかに…お雛さまイベント終了》

地域の賑わい創出に…と名立大町自治会が中心となって始め、4 年目を迎えたお雛さま巡りは今年も個人宅 7 軒のほか、名立コミュニティプラザ、小・中学校、ろばた館、総合事務所のご協力をいただき、無事に終了することができました。

2 月 25 日にはお雛さま巡りウオーキング（左上写真：新井町橋本哲夫さん宅）とコンサート（左下写真）を開催し、約 30 名のみなさんから楽しんでいただき、特にコンサートは今年初めて飾った 7 組（＋ガラスケース）もの華やかなお雛さまの前で二胡、合唱、サックスの演奏が披露され、春の訪れを感じることができました。

《第 3 回まちなかサロン》

3 月 1 日に開催した第 3 回まちなかサロンはあいにくの雨になりましたが、なんと（！）17 名の参加があり、今回も楽しい時間をお過ごしいただきました。

初回が 7 人でしたので、3 回目でこんなに多くのみなさんから参加していただき、しかも今回も 4 名の初参加もあり、参加していただいた方からの“口コミ”で広がっていることが大変うれしく思います。

これまで名立大町地区で開催していましたが、南部地区からの参加も増えてきていることから、4 回目はろばた館を会場に“おでかけまちなかサロン”として開催することにしました。ろばた館まではバスでちょっとした遠足気分で行きたいと思いますので、お楽しみに！

《第 4 回まちなかサロン》

□とき・ところ：4 月 12 日（金） 9：00 ～ 14：00 **“ろばた館”**

バス時刻の関係でおおむねの開催時間を上記のとおりとしますので、ご都合のいい時間にご参加ください。

□参加費：200 円（ただし、「バス代金片道 200 円」「入浴料シルバーパスポート利用で 280 円」「昼食代」等は別途必要になります）

□バス利用時間：

（往）北部地区： 7：55 コミュニティプラザ前発 ⟹ 8：18 ろばた館前着
　　南部地区： 8：40 東飛山発 ⟹ 8：44 ろばた館前着
（復）北部地区：14：16 ろばた館前発 ⟹ 14：39 コミュニティプラザ前着
　　南部地区：13：56 ろばた館前発 ⟹ 14：02 東飛山着

《2024 まちづくりフォーラム～福祉も災害も…自助・共助・公助のまちづくり～》

毎年テーマを定めて開催している“まちづくりフォーラム”の 2024 年テーマを「福祉も災害も…自助・共助・公助のまちづくり」とし、3 月 17 日（日）名立地区公民館を会場に約 50 名の参加で開

催しました。

「自助・共助・公助」という言葉は地域包括ケアや社会保障分野で用いられる用語ですが、近年は防災分野でも「自助、共助、公助で備える」ことの重要性が高まってきています。

そこで、昨年から策定を進めていた第 2 次名立区地域福祉活動計画・アクションプラン（以下、「第 2 次福祉計画」）に基づく福祉のまちづくりと 1 月 1 日に発生した能登半島地震を教訓にした今後の防災対策について“自助・共助・公助”の視点で考えることから、「一人ひとりの生命と暮らしを守り、みんなでつくる誰もが安心して暮らせるまち・名立」を目指していこうと開催したものです。

第 1 部の第 2 次福祉計画の公表では「まちなかサロン」ほか 23 件の新規取組みが追加され、その中には新たな行動目標として「誰もが安心して暮らすことができる地域づくりに取り組む」こととその具体的なアクションプランとして「避難訓練の実施」などが掲載されたことが報告されました。

なお、第 2 次福祉計画は 5 月までに全世帯に配布される予定ですので、ぜひご覧いただき、一人ひとりが取り組める“活動”を進めていただければと思います。

第 2 部では新潟大学災害・復興科学研究所長の卜部厚志教授から「上越地域（名立地域）における津波浸水想定について」ご講演いただきました（右写真）。

講演冒頭では「津波避難の新たな課題」として能登半島地震では旧耐震の木造家屋の 9 割が倒壊・全壊している被害状況から住宅の耐震化について改めての重要性に加え、冬季の災害＝寒さ対策についてのご指摘がありました。

第 1 分科会「自助」

このことについては、当日配付資料の名立大町自治会アンケート結果でも「避難先で困ったこと」の約 1／3 が「寒さ」であり、今後の課題として具体的な対応を検討していかなければならないと感じました。

また、「上越地域の津波は？」については断層モデルF41 の動きがポイントとなり、この断層が動けば震度 6 強の地震と「大きく揺れたらまず津波」と考え、「（津波到達まで）短時間しかないことを想定した自主的な避難が必要」と強調されました。

その後、参加者は自助、共助、公助をテーマにした 3 つの分科会に分かれ、能登半島地震を振り返るとともに、今後の安全安心な防災対策のあり方について意見交換されました。

3 つの分科会の報告後、卜部教授から総括的なお話をいただきました。

「災害対応だけだと取り組みにくい部分があるので、第 2 次福祉計画のように普段の暮らし、生活の中に訓練が位置づけられていることが大切であり、そうした活動を継続していくことが重要」

「今回うまくいかなかったことや気づきを今のうちに書き残しておくことが“次への”マニュアルになる」

今後、フォーラムの内容をまとめた記録集を作成し、地域全体で共有しながら今後の安全安心な地域づくりを進めていきたいと思います。

《NPO 法人認証決定》

昨年 12 月の「まち協だより」でお知らせしたように、1 月 4 日に新潟県に NPO 法人認証申請を行い、2 月 5 日に認証されましたので、4 月以降は“NPO 法人まちづくり未来ネット・名立”としてスタートしていくことになりました。

ただし、正式には 4 月早々の法人登記が終了してからになりますが、NPO 法人になってもこれまで取り組んできた「一人ひとりの生命と暮らしを守り、みんなでつくる誰もが安心して暮らせるまち・名立」を目指していきたいと考えていますので、みなさんのご理解とご協力をよろしくお願いします。

《一緒にお買い物に出かけませんか？》

3 月 12 日のお買い物帰りに
五智歴史の里会館で休憩

車の運転ができない方や公共交通機関の利用が困難な方の買い物支援を毎月 1 回実施しています。

今年度は延べ 86 名からご利用いただき、お買い物と往復車中のおしゃべりやお出かけついでの桜や芝桜鑑賞などを楽しく過ごしていただいています（1 回の利用料は 300 円です）。

4 月からも毎月 1 回実施していく予定ですので、外出支援を希望する方は事務局までお知らせください。

《賛助会費納入のお礼》

毎年、区内事業所のみなさまへ賛助会費納入のお願いをさせていただいていますが、今年度も多くの事業所様から納入いただき、ありがとうございました。

これからも「だれもが安心して暮らせる」まちづくりに取り組んでいきたいと考えていますので、今後ともみなさまのご理解とご協力をよろしくお願いします。

【ご協力いただいた事業所様】（敬称略・順不同）

有限会社畑商店　有限会社衣料のソーハチ　えちご上越農協名立支店　有限会社室橋重機工事
セブンイレブン上越名立店　有限会社岩田建築　株式会社牛木組　上越市漁業協同組合名立支所
有限会社竹田住宅設備　名立郵便局　越後森郵便局　有限会社名立食堂　有限会社竹内板金工業所
牛木商事株式会社　有限会社金井商事　株式会社丸五商事　有限会社森田建設　有限会社原田電気
有限会社名立電工　有限会社久保埜建築　有限会社佐藤竹右衛門商店　上越信用金庫名立支店
名立運送株式会社　株式会社ゆめ企画名立　食堂徳市　合名会社小川紙店

【編集・発行】 名立まちづくり協議会　会長　三浦　元二
上越市名立区名立大町 200-1（名立地区公民館内）
担当：金子　僚子、石井　三千代
☏：025-537-2182　FAX：025-546-7041
✉：matikyo-nadati@bz04.plala.or.jp　ホームページ URL：nagatatsu.com

↑ＨＰ　↑インスタグラム